

平成23年度第1回尾張旭市立図書館協議会

1 開催日時

平成23年8月5日（金）

開会 午後3時30分

閉会 午後5時

2 開催場所

尾張旭市立図書館 視聴覚室

3 出席委員

岡田龍二、浅野 健、小林利之、村井弘子、熊谷朝子、岩井美也子、松田 修、
三浦ちず子 8名

4 欠席委員

山寺紀子、奥村珠代 2名

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員

教育部長：長江建二、図書館長：酒井 学、館長補佐兼図書館係長：杉山 毅
主査：松下恭子

7 議題等

- (1) 会長及び副会長の選出について
- (2) 平成22年度事業実施結果について
- (3) 平成23年度事業実施状況及び計画について
- (4) その他

8 会議の要旨

- 図書館長 会議の成立要件、委員の過半数の出席委員（8名）の確認
会長不在のため、新会長が決定するまで会長を代行して議事進行を
務める旨の了解を得る。
- 教育部長 （あいさつ）
- 図書館長 委員及び事務局に自己紹介を依頼
（委員の自己紹介）
（事務局職員の自己紹介）
議事開始
- 図書館長 （図書館協議会の役割について説明）
次第2会長の選出について進行
（委員に意見を求める。）

図書館長 会長の選出方法については委員の互選とされていますが、どのような方法がよろしいですか。

村井委員 (推薦による方法を提案)

図書館長 会長の選出方法について推薦による方法でよろしいですか。
(異議なしの声)

図書館長 会長の推薦についてご意見をお願いします。

村井委員 (「岡田委員」を推薦)

図書館長 会長を「岡田委員」とすることでよろしいですか。
(異議なし、拍手)

委員全員 (議事進行を岡田会長に引き継ぐ。)

図書館長 (会長就任のあいさつ)

岡田会長 副会長の選出についても委員の互選とされていますが、どのような方法がよろしいですか。

浅野委員 (会長に一任を提案)

会長 副会長の選出について、会長に一任することでよろしいですか。
(異議なしの声)

各委員 (松田委員を指名)

会長 (副会長就任のあいさつ)

松田副会長 3協議事項(1)平成22年度事業実施結果について事務局に説明を求める

会長 館長補佐 (下記内容について、図書館年報(資料1)にて説明)

P10 図書館費当初予算額(歳出のみ)

P14 図書館資料

P18 図書館利用状況

P20 相互貸借実績

P21 図書館の利用指数

P22 よく利用された資料(年間ベストリーダー)

P24 よく予約された資料(年間ベストオーダー)

P26 平成22年度実施事業

会長 (説明に対する質問・意見を求める。)

浅野委員 貸出冊数が増えたとありますが、貸出期間は長くなりましたか。また、延滞者に対する督促は行っていますか。児童の来館者数や割合はどれくらいですか。

館長補佐 貸出期間はこれまでどおり変わっていません。督促については、予約の入っている本で返却期限を3日過ぎたもの、

返却期限後3週間経過したものについては電話で督促をし、返却期限1か月経過後1か月ごとにはがきで督促します。はがきの督促でほぼ返却されている状況です。また、児童の来館者数はカウントするシステムがないため分かりません。

館長

補足ですが、尾張旭市立図書館の管理運営に関する規則により貸出期間は貸出日及び返納日を含めて15日以内となっています。

また、児童の来館者数は、玄関に人数をカウントする機械が設置してあり、2回人が通るたびに1人とカウントします。この機械では大人と子どもを区別することができないため、児童の来館者数はわかりません。

館長補佐

児童の貸出冊数を見ると前年に比べ3万5千冊増加しています。特に絵本の貸し出しが増加しました。

三浦委員

図書館予算で委託料が増えているのはなぜですか。

館長補佐

ICタグ貼付作業を、緊急雇用制度を利用して予定しており、その予算がこの中に含まれています。ICタグとは、ICチップとアンテナがシール状になった名刺大のもので、貸出返却の管理、不正持ち出しの抑制、自動貸出機の利用が容易になる、蔵書点検作業の時間短縮といった利点があります。貼付するICタグの代金と人件費等の業者へ委託する金額がこの中に含まれています。

館長

これは18万冊の図書についてタグを貼付する作業になります。

会長

ICタグで心配するのは、業者が仮に撤退した場合、大丈夫か、それまでの18万冊が無効になったりしないかという点ですが。

館長補佐

今回貼付するタグは、ISOの15693で規格化されており、タグのメーカーが撤退し、他社メーカーのタグに変更しても問題はありませぬ。

副会長

10ページの資料にある予算額の中で、図書館流通センターのコストはどれくらい占めていますか。

また、IC機器の予算は、支出の中に含まれていますか。

また、先程の話で貸出期間が市町村によっては3週間という館もあります。

館長補佐

まず、図書館流通センターの予算は22年度から委託料の中に含まれています。年間140万円で、大阪屋の情報を使用していた時は44万円です。以前の大阪屋の情報は非常に内容が荒く、全集の作品名、内容、著者紹介などが入っていませんでした。図書館流通センターの書誌情報は、全国の図書館の約8割が使用しています。ま

たIC機器の予算は、22年度の補正予算「住民生活に光をそそぐ交付金」で上げているためここには載っていません。繰越明許ということで1,070万円を今年度に繰り越ししまして機器を購入することになっています。

貸出期間につきましては、確かに2週間で10冊というのは大人の方にとっては大変厳しいかと思いますが、3週間にしますと本の回転が悪くなります。今でも予約の集中する本については半年から1年お待たせする状況にあり、さらに待つ時間が長くなるということで2週間のままとなっています。

館長 補足ですが、ここ数年でインターネットや携帯、図書館内の検索端末の利用がかなり増えております。図書館流通センターの書誌情報に変更したことで、利用者が検索端末で図書の内容紹介、著者紹介を見ることができ、本の中の言葉をキーワードとして検索をかけた場合にも本の抽出ができるようになりました。また、貸出期間につきましては、当図書館は回転率が高く、予約のオーダーも多いため、その期間を考慮して2週間としております。

会長 予約の多い本は、何冊くらい用意していますか
館長補佐 予約の多い本については、複本を用意して貸し出しをしていますが、初めから5冊6冊とは購入できないため、予約が増えてきたら後追いで購入しています。図書館としては複本の購入は控えたいところですが、利用者からの要望に応じていくということで購入しています。最近では予約が多い本のリストをカウンターに掲示し、利用者からの寄贈を呼び掛けており、これまでに数冊寄贈がありました。

会長 3協議事項(3) 平成23年度事業実施状況及び計画について事務局に説明を求める。

館長補佐 (下記事項について資料2により説明)

- 1 資料の充実
- 2 朝見武彦文庫
- 3 利用促進事業

会長 (説明に対する質問・意見を求める。)

副会長 雑誌のスポンサー制度について、どれくらいの期間どれくらいの金額を考えていますか。

館長補佐 期間は1年間、何誌持つかは制限はありません。雑誌の年間購入金額を企業から直接書店に支払っていただき、雑誌を図書館に納入してもらいます。その分当市の雑誌の予算削減、資料費の抑制につな

がります。雑誌の最新号にはビニールのカバーがつけてあり、次の号が発刊されるまで雑誌架に表紙を見せて置いてあるため、その表紙に企業の広告を掲載していただくということになります。

副会長

例えばスポンサーがついた雑誌は生き残るが、スポンサーの付かなかった雑誌は削減対象になっていくということも考えられますが。

館長補佐

よく読まれる雑誌だけ図書館に置いておけばいいかということにはなりません。調査研究に対応する雑誌も図書館には必要であり、そういった雑誌を購入していくためにも、スポンサーに費用の一部を負担していただき、その他の雑誌を購入する予算を図書館で確保していきたいと考えております。

会長

朝見武彦文庫の予算は、他の予算に比べ相当ありますが、今後の見通しはどうなるのでしょうか。

館長補佐

基金は24年度で終了します。尾張旭市は健康をブランドにしており、図書館としても健康に関する図書がそろっているという特色は持ち続けたいと考えています。今までのようなペースでとはいきませんが、予算を確保して今後も購入を続けたいと考えております。

会長

駐車場が混み合っていますが、駐車場を有料化にする計画はありますか。

部長

今年度当初、市役所、市民会館、体育館の駐車場について、その施設を利用される方以外は、駐車場を有料化する計画がありました。しかし、東日本大震災の影響で国からの補助金が削減され、一年見送りとなりました。まず、市役所、市民会館、体育館の駐車場の目的外利用者について排除できるような見通しがつけば、市内全体の公共施設に拡げていきたいという思いはあります。駅に近い部分から順に拡げていくことになるかと思えます。

副会長

朝見武彦文庫の予算は、25年以降も必要になると思いますが、どのように考えていますか。

部長

朝見武彦文庫の図書購入費400万円については、資料1の10ページの予算額、備品購入の中の図書購入費1,924万円の中に含まれています。これが25年度になると無くなりますが、この部分を財政から余分に貰うことは、今の財政状況では難しいため、1,400万円の中で我々がどういう風に工夫して購入していくかということになります。

会長

以上協議事項については承認するという事によろしいでしょうか。では、4のその他について事務局よりお願いいたします。

館 長

本日皆様にお集まりました機会に、利用者からの図書館に対するご意見の内容につきまして、皆様からご意見をいただきたいと思いません。その意見とは、現在当図書館には、政党が発行する公明新聞、しんぶん赤旗、自由民主がございます。そういった特定の政党の発行するものを公共図書館に置くのはいかがなものかというご意見でございました。この件につきまして、県内図書館約70館ほどに照会をし、状況を確認したところ、機関紙を1～5紙の範囲の中で置いている館がほとんどであり、全く置いていない館は10館でした。置いていない理由については、置く必要が無いため、内容がイデオロギーに関することであるため、特定のものだけを置き他にもものを置かないのはバランスを欠くためということでした。ちなみにほとんどの図書館は寄贈によるもので、購入してまで置くという考えはなく、寄贈であるため配架しているということが大多数の図書館の答えでした。その後ご意見をいただいた方にも私からご回答申し上げましたが、予算も大変厳しくなっており、政党機関紙については購入してまでは提供しない、片や情報提供という面からみれば寄贈していただけるものであるならば、配架してもよいのではと考えております。この点につきましてご意見をいただきたく思います。

会 長

今の件に関しましてご意見ございますか。

三浦委員

寄贈ですよ。

館 長

はい。寄贈です

岩井委員

それは表示してありますか。

館 長

はい新聞配架用のバインダーに寄贈と表示してあります。

副 会 長

なかなか難しいかもしれませんが4紙の利用状況は。

館長補佐

貸出しているわけではないので、利用状況についてはわかりませんが、さほどある方ではないようにみえます。

三浦委員

資料としては一般新聞がなかなか載せないような記事も載せており、資料として役に立つということで、寄贈ならよいのではないのでしょうか。

副 会 長

雑誌なども寄贈されたものがたくさんありますが、配架していないものがありますか。

館長補佐

雑誌に関しては、年報の17ページに寄贈を受けている雑誌の一覧を載せていますが、昨年度は20紙と増えました。購入していた雑誌の休廃刊が激しく、棚が空いたということもありまして寄贈の雑誌の中から受け入れを増やしました。寄贈の雑誌すべてというわけ

ではないのですが、ほぼ受け入れています。すべてでない訳は、一度寄贈があっても毎月定期的に送ってこない、雑誌というよりは薄いリーフレットのようなものなどについては受け入れをしていません。

部 長

今日唐突にお話しをさせていただいたものですから、また機会があればどういう雑誌が寄贈されているのかお知らせいたしたいと思います。

会 長
三浦委員

それでは、その他何かご意見ありますか。

子ども読書活動推進計画の15ページ地域における図書室の整備で連携が必要だとありますが、具体的にどうしていくのかという手立が詰められていないような気がします。学校図書館の問題で中学生の利用が少ないとありますが、活性化させるためにはどういう手立てが必要かというところまで、詰めていかなければこの計画が生きてこないと思うのですが。

館長補佐

現状、課題、取組ということで計画しているのですが、これ以外でもよい方法があれば取り組んでいきたいと思います。

部 長

15ページを見ていただきますと具体的な目標値が載っております。これをどう伸ばしていくかというのが、その上に記載してあります取組ということになります。この計画はすべてのところでこの目標値をもっております。これを進行管理しながら目標値に達成するように努力していき、時には軌道修正を加えながら毎年目標値を満たしてどれくらいの成果があがったのかを見ていきたいと考えています。

副会長

尾張旭市立図書館と幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校、大学がどう連携したらいいのか、連携の方向を模索していくともっと利用も増えていくと思います。例えば、尾張旭市立図書館で大学の本を貸出したり、幼稚園や保育園でも市の図書館の本を利用できたりするといった方法もあります。

部 長

中学校の図書館システムが導入できたのが、ここ数年になります。市内の学校や大学がこの尾張旭市立図書館のシステムと連携を取り、ネットワークを構築していくには、もう少し時間と費用がかかるかと思います。

副 会 長

瀬戸市では、いくつかの小学校が瀬戸市立図書館と連携する取り組みをしていますが、そのような方法でもよいかと思います。

会 長

そのあたりのことにつきましては、まだ課題があるかと思いますが、

連携がとれるようなシステムを探っていく必要があると思います。
それではいろいろご意見ありがとうございました。

館長補佐
会 長

次回の図書館協議会の日程（11月開催予定）について説明
（閉会あいさつ）